



グリーンレポート
2002

ごあいさつ

環境保全への取り組みに
さらなるレベルの向上をめざして。

合掌 事業活動のなかで使わせていただいた水や空気は、再びキレイにして自然にお返しすること、
ゴミや廃棄物で自然を汚さないことなど、自然の恵みを利用して事業活動を営む企業にとって環境の
保全は、当然果たさなければならない責任であると思います。

ダスキンは創業以来、商品の生産・販売・回収・再生・再利用を繰り返し、商品の寿命が尽きるまで
使い切るという、独自のレンタルシステムを基本とした『循環型』事業活動を進めてまいりました。
また、その過程で生じる排水や廃棄物の処理にも全力をあげて取り組んできました。

さらに、1998年には「ISO14001認証取得宣言」をし、ダスキン企業集団をあげて環境保全への
取り組みを強化いたしました。おかげ様で、これらの取り組みが国際基準に照らしても認められ、
全国のダスキン総合工場をはじめ、ミスタードーナツショップ、愛の店の加盟店、支店、サービスマスター、
ターミニックス、メリーメイド、ヘルスケア、レントオールなどすべての事業分野でISO14001の認証を
取得することができました。

資源を無駄にせず使い切る、「もったいない」という極めて素朴な思いからスタートしたダスキンの
環境保全への取り組みですが、今後もさらにレベルの向上を目指し、少しでも地球環境の保全に
お役立つことを、心から願っております。

本冊子には、こうしたダスキンの環境保全への基本的な考えを明らかにするとともに、
その活動の一端をご紹介します。
どうぞ一読くださいますようお願い申し上げます。

ありがとうございました。 合掌

2002年11月
株式会社ダスキン

祈りの経営ダスキン 経営理念

一日一日と今日こそは
あなたの人生が(わたしの人生が)
新しく生まれ変わるチャンスです
自分に対しては
損と得とあらば損の道をゆくこと
他人に対しては
喜びのタネまきをすること
我も他も(わたしもあなたも)
物心共に豊かになり(物も心も豊かになり)
生きがいのある世の中にすること
合掌
ありがとうございました

環境保全活動の歩み

1963年 2月 ダスキン創業 フランチャイズチェーンを通じてダストコントロール商品の
「レンタルシステム」を展開
1973年12月 レンタル再生工場(クリーニング工場)40工場に廃水処理装置を導入完成
1974年 6月 廃水の高度生物処理法「固定床式接触酸化法」開発・導入
1990年 6月 廃棄物の自社処理施設として「スラッジ用焼却炉」「乾留ガス化炉」開発を開始
1993年 4月 容器・包装を加盟店より自社回収開始
1993年 7月 ミスタードーナツが廃油の石けん化開始
1998年 4月 「ISO14001認証取得」宣言
レンタル営業車に「天然ガス自動車」を20台テスト導入
1998年11月 「クリーンアップ ザ ワールド」世界122カ国加盟の環境美化活動協賛
1999年 2月 大阪中央工場 ISO14001認証取得
2000年 3月 生産グループ(全国の30総合工場・生産本部) ISO14001認証取得
2000年 4月 フードサービス(ミスタードーナツショップ1,232店・ミスタードーナツフランチャイズ本部)
ISO14001認証取得
2001年 3月 訪販サービスグループ(愛の店加盟店、支店2,167店・本部) ISO14001認証取得
2001年 4月 ケアサービス(サービスマスター、ターミニックス、メリーメイド、トゥルグリーン、ファシリティ
マネジメント、ヘルスケアの6事業分野・全国1,680拠点) ISO14001認証取得
2001年 7月 レンタルサービスグループ(レントオール) ISO14001認証取得

環境関連受賞

1979年 「清掃用モップ」で「大阪府発明功績者表彰」並びに「発明協会地方発明表彰」
1990年 防塵用マットで「科学技術庁長官賞」受賞
1994年 ミスタードーナツがエコロジカル・フードサービス部門において「農林水産大臣賞」受賞
1998年 ダスキン掃除機が「グッドデザイン賞」受賞
2001年 ダスキン掃除機、モップ、マット等12品目が「グッドデザイン賞」受賞

会社概要



ダスキンピア(本社)

社 名株式会社ダスキン
本 社〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33
代表者代表取締役社長 伊東 英幸
設立年月日1963年(昭和38年)2月4日
資本金113億5,294万円(2002年6月27日現在)
株式会社ダスキン売上高1,972億円(2001年度)
全国チェーン店お客様売上高4,598億円(2001年度)
働きさん(従業員)数1,849名(2002年3月31日現在)

社内カンパニー一覧

■ダイレクトセリングサービス ダスキנקリーンサービスカンパニー ダスキンプродаクトカンパニー ダスキנקリーニングサービスカンパニー ダスキンワイプフルサービスカンパニー ダスキンヘルス&ビューティカンパニー ダスキンカフェエクスプレスカンパニー	■レンタルサービス ダスキンレントオールカンパニー ダスキンeeステーションカンパニー ダスキンリサイクルマートカンパニー	■その他 ダスキンコールセンターカンパニー ダスキンメディアカンパニー ダスキン企業育成カンパニー
■ケアサービス ダスキンサービスマスターカンパニー ダスキントーミニックスカンパニー ダスキンメリーメイドカンパニー ダスキントゥルグリーンカンパニー ホームインステッドカンパニー 株式会社ダスキンヘルスケア	■フードサービス ミスタードーナツカンパニー カフェデュモンドジャパンカンパニー かつアンドかつカンパニー 日本ジョーズカンパニー 株式会社どん 日本ツチ・バヌーチ株式会社	ダスキンビジネスサービス株式会社 株式会社ルビフ 株式会社ダスキンジェイエクスプレス ダスキン印刷サービス株式会社 ダスキン共益株式会社 ダスキン保険サービス株式会社 株式会社ダスキンソフト ダスキン江坂サブライ株式会社 株式会社ダスキン・アイマート

C O N T E N T S

ごあいさつ 1

環境保全活動の歩み・
会社概要 2

環境保全の基本精神と
環境マネジメントシステム 3

ダイレクトセリングサービス
訪販グループの取り組み 5

ダイレクトセリングサービス
生産グループの取り組み 7

ダイレクトセリングサービス
商品開発グループの取り組み 9

レンタルサービスの
取り組み 11

ケアサービスの取り組み 13

フードサービスの取り組み 15

社会奉仕活動・環境教育・
啓蒙・情報の公開 17



エコビジネスの“レンタル”を基に事業を展開。 全てのサービスでISO14001認証を取得しました。

フーズサービス

「ミスタードーナツ」をはじめ、日本になかった世界のおいしさと楽しさを、さまざまなスタイルで提供しています。



◎ミスタードーナツフランチャイズ本部と
全国1286のショップ
◎2000年4月21日取得
◎登録No.: JMAQA-E104
◎認定機関: 社団法人日本能率協会

ダイレクトセリングサービス

訪 販

「レンタル・イズ・エコ」をスローガンに、モップやマットをはじめとするレンタル商品を、家庭や事業所に定期的にお届けしています。



◎本部と全国2,167の加盟店・支店
◎2001年3月30日取得
◎登録No.: JQA-EM1483
◎認定機関: 財団法人日本品質保証機構

生 産

ダスキン各サービスの商品を生産、回収した商品のクリーニング、再生加工、物流を一貫してサポートしています。



◎生産本部と全国36工場
◎2000年3月3日取得
◎登録No.: JMAQA-E095
◎認定機関: 社団法人日本能率協会

フードサービス

レンタルサービス

ダイレクトセリングサービス

訪 販

生 産

ケアサービス

レンタル = エコ

環境理念

ダスキンの環境保全活動の根幹には、「世の中をより美しく」との願い、「もったいない」と思う精神、お客様の幸せをダスキンの幸せとする心…そんな創業以来変わらぬ経営理念があります。その理念のもとに生まれたのが、モノを大切に最後まで使い切る“レンタル”です。ダスキンが環境にやさしい「循環型企業」と呼ばれるのは、レンタルがそのままエコ活動として広く認知されているからに他なりません。ダスキンの経営理念は、まさに「環境理念」であり、これが環境保全活動の根っこを支えています。40年にわたって育んできた

レンタルサービス

必要な時に必要なモノをレンタル、リサイクルによって提供し、環境にやさしいライフスタイルを提案しています。



◎本部と全国143店
◎2001年7月26日取得
◎登録No.: JMAQA-E218
◎認定機関: 社団法人日本能率協会

ケアサービス

プロのお掃除「サービスマスター」、害虫獣駆除の「ターミックス」、家事代行の「メリーメイド」など、多彩な専門技術を提供しています。



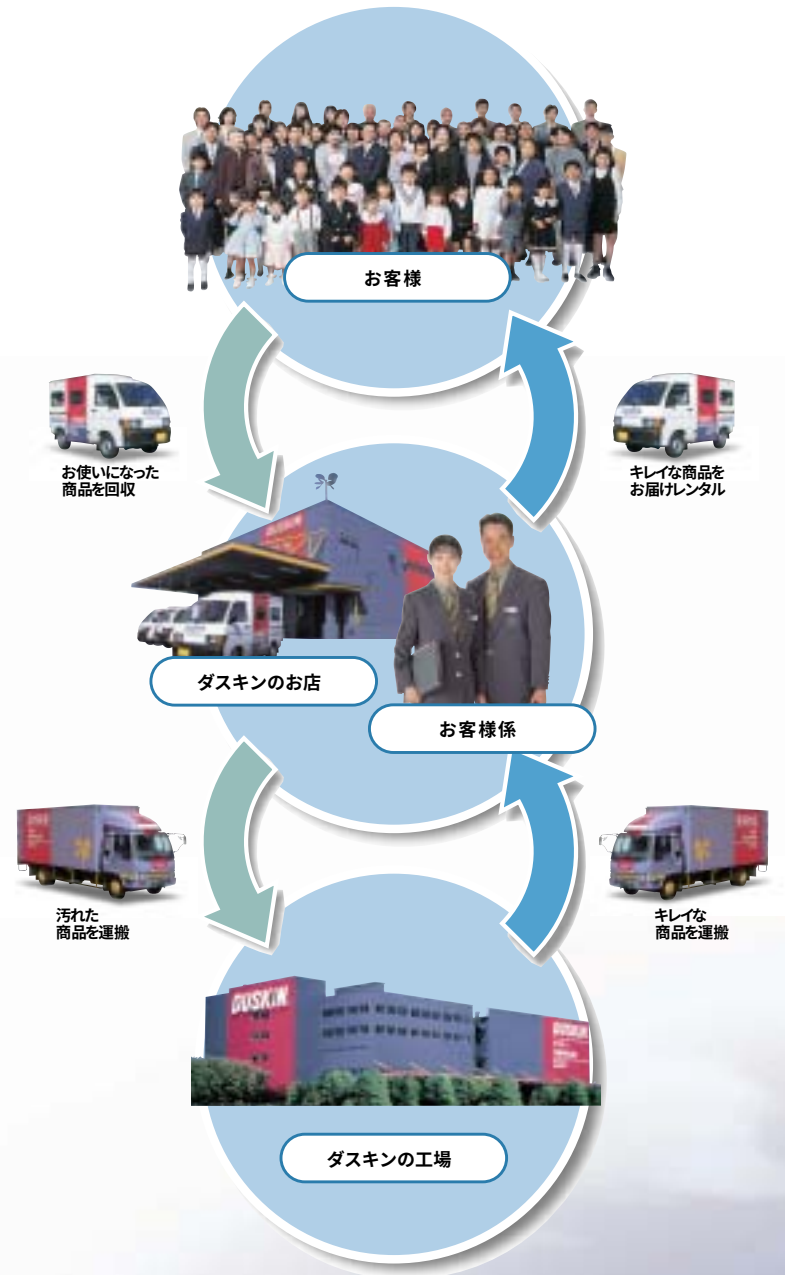
◎サービスマスター、ターミックス、メリーメイド、トータルグリーン、ファシリティマネジメント、ヘルスケアの各本部と全国1,680拠点
◎2001年4月27日取得
◎登録No.: JQA-EM1552
◎認定機関: 財団法人日本品質保証機構

“レンタル”は、大地にしっかり根ざした太い幹。そこから派生した豊かな枝葉は、生活のさまざまな場面でお役立ちできる多様なビジネスといえるでしょう。

ダスキンが展開する全てのビジネスは、「環境理念」に基づく活動です。さらに環境保全活動が多岐にわたり、環境マネジメントの必要性が高まるのにもとない、国際規格であるISO14001の認証を全サービスで取得。日本でも最大規模の組織員数を誇るISO認証企業となりました。以後はこれまでの活動をさらに強化。世界一の環境基準を自らに設けて、環境保全活動に力を注いでいます。

循環型ビジネスの先駆けです。
繰り返し使う、無駄にしない。
レンタルサービスは

モップやマットなどのレンタルシステムは、商品の寿命が尽きるまで使い切る、ダスキン創業以来継続している省資源の循環型ビジネスです。2001年3月には、本部および全国2,167店、組織員数約10万人の加盟店・支店がISO14001の認証を取得。お客様に一番近いお店が認証取得をしているのは、全国的にもまだ少なく、ダスキンの環境保全への積極的な取り組みを示す一例といえるでしょう。



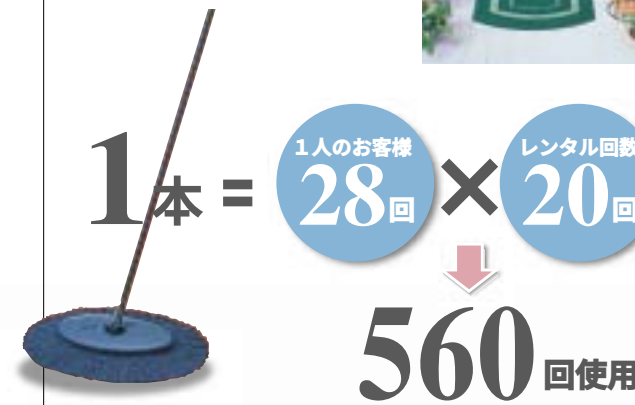
訪販グループ環境方針

訪販グループは、定期訪問により、日本中のお客様へ清潔、安全、快適な生活環境を提案し提供します。お客様の生活環境向上を使命と考える私たちは、環境汚染を予防し、改善するため、下記の項目につき確実に実施し、行動し続けることを約束します。

- ① 全国すべての地域、地区において、環境法規およびその他の要求事項を確実に遵守し、健やかな地域環境の保全に貢献します。
- ② 定期訪問、営業システムにおける省資源、省エネルギー、車両運行に伴う大気汚染の改善に積極的に取り組みます。
- ③ 本部および店舗での、省資源、省エネルギーを推進し、全組織員に環境保全意識を徹底します。
- ④ 環境保全に優れた商品を開発し、お客様に対して提案することによりお役立ちします。
- ⑤ ISO14001に準拠した環境マネジメントを実施し、お客様に信頼される、組織、システムを維持します。
- ⑥ 本方針は、訪販グループ組織員に周知し、全員で取り組むことを約束します。

レンタルで廃棄物削減

一定期間ごとにクリーニングした商品と交換するダスキンのレンタルシステムは、1963年にスタート。モノを大切にする、最後まで使い切る、リユースの原点となっています。モップやマットに代表される商品は、お客様の元で使用された後で回収・洗浄。機能を回復させて、再度お客様の元へお届けします。定期レンタルの平均回数はモップが20回、マットが40回。買い取り商品に比べ、廃棄物を20分の1、40分の1に削減できます。



オールリサイクルのプロジェクト始動

現在、古くなったモップのハンドルなど是不燃ゴミとして処理していますが、これら全てのツールをリサイクルするため、2002年7月に研究プロジェクトをスタートさせました。お店から出る不燃ゴミを一掃することを目標に、より効率の高い循環型ビジネスをめざします。

営業車の排ガスを低減

NOxやCO2排出量低減に効果的な軽貨物の天然ガス自動車を、1998年4月より関西地区を中心に導入。現在までに、32台がレンタルサービスの最前線で活躍しています。まずは40台を目標に、順次全国の加盟店・支店に導入を推進。同時にドライバーの意識向上にも力を入れていきます。



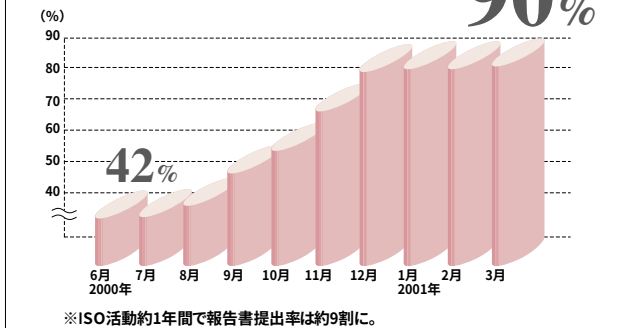
●天然ガス自動車



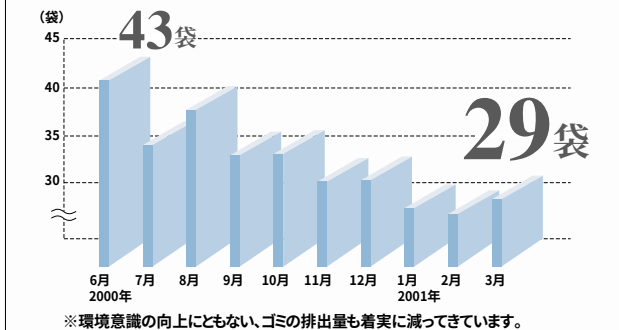
店舗からの排出ゴミ削減

ISO14001認証取得をきっかけに、組織員の環境意識が大きく向上。ISO活動の一環として実施している可燃・不燃ゴミ削減についても、分別ゴミの徹底、梱包方法の見直し、商品寿命の延長、マットのゴム部のリサイクルなど、さまざまな工夫によって着実に成果を上げています。

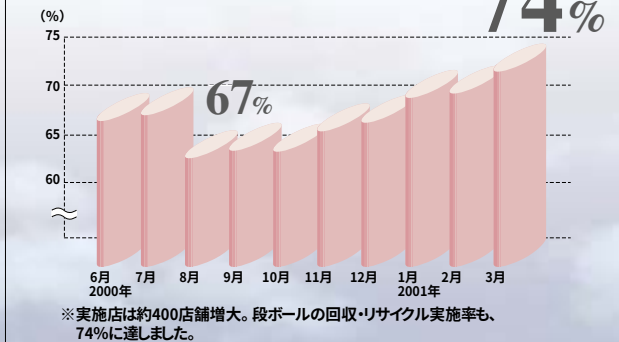
●「環境報告書」提出率が向上



●可燃ゴミ、1店当たりの袋数が減少

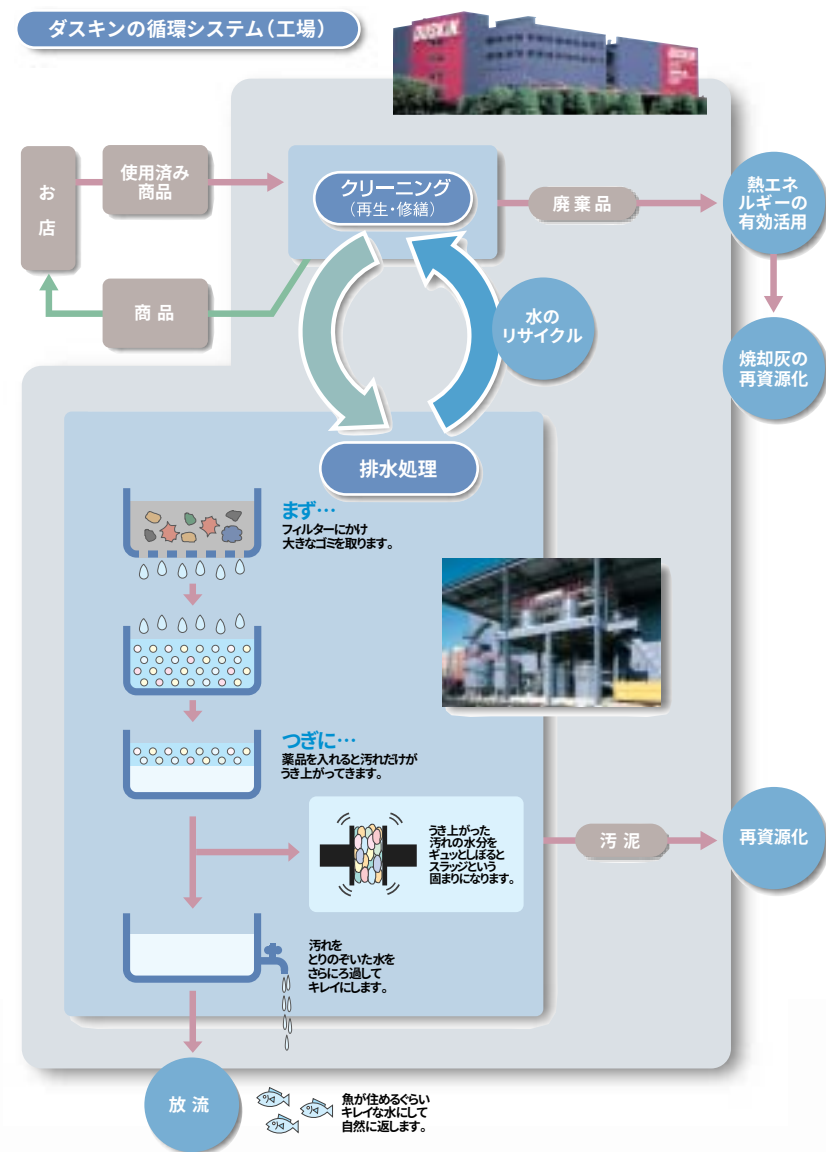


●段ボールのリサイクル率が向上



工場廃水のリサイクルも30年余の実績を誇ります。

「自然からいただいたものは、もとの状態にして自然にお返しする」をモットーに、1970年代から廃水処理設備を導入して水質保全に取り組んできました。1999年2月には、ダスキン企業集団の先陣を切って大阪中央工場がISO14001認証を取得。2002年2月現在、生産本部と全国47の総合工場が認証を取得し、生産グループあがて廃棄物の再資源化に取り組んでいます。



生産グループ環境方針

ダスキン生産本部ならびに総合工場は、お客様に喜んでいただける適性品質を維持した商品の提供を通して、リネンサプライの原点である投入資源の高速回転と長寿命化を回り環境負荷低減の継続的な改善を行い、地球規模の積極的な保全を推進して「地球にやさしい工場づくり」を追求します。

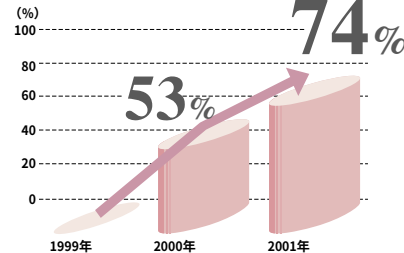
- ①環境法規・その他要求事項の遵守を通して地球環境の保全に全力を尽くします。
- ②環境に与える影響を測定し、環境目的・目標を定め、年1回以上の見直しをして環境汚染の予防と継続的改善を図ります。
- ③省エネルギー、リサイクル、廃棄物の削減に積極的に取り組みます。
- ④地域環境保全活動として月1回以上の托鉢（清掃奉仕）活動を実施して地域社会に貢献を果たします。
- ⑤敷地内の緑化を推進します。
- ⑥この方針をすべての働きさん（従業員）に周知して、環境意識を浸透させて全員参加で取り組みます。

廃水処理後の汚泥を再資源化

クリーニング廃水を浄化する際に発生する汚泥（廃水処理スラッジ）は、工場廃棄物の半分以上を占めています。廃棄物を減らすには、汚泥のリサイクルが必至でした。そこで1999年より汚泥のセメント原料へのリサイクルを開始。2001年度には、再資源化率74%を達成しています。



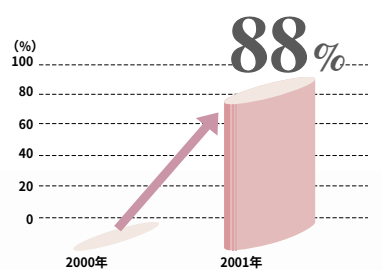
●廃水処理スラッジの再資源化率が高まっています。



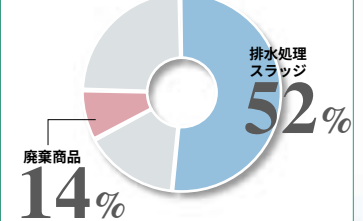
廃棄商品のセメント生産燃料化

工場廃棄物の14%を占める廃棄商品は、セメント工場で燃料として再利用しています。さらに残った灰はセメントの一部に。これにより、廃棄商品の約88%が資源として有効利用されています。

●廃棄商品の再資源化も進んでいます。

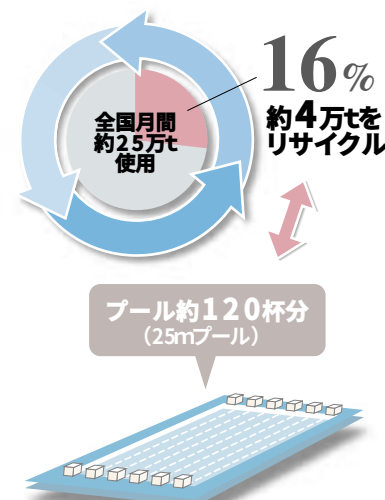


●廃棄物の内訳



クリーニング廃水をリサイクル

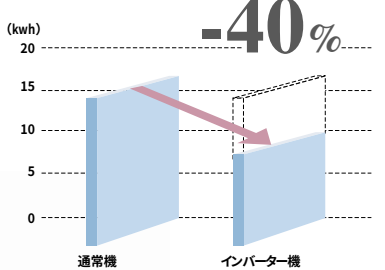
商品のクリーニングに使用した水は、廃水処理システムによって魚が住めるくらいキレイな水にして放流。クリーニング水としても再利用しており、リサイクル水は全国の工場で使用される月間約25万tの水のうち、16%にあたる約4万t(25mプール120杯分)に相当します。



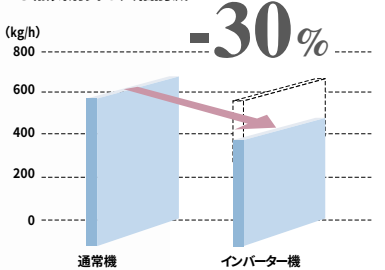
インバーター導入で電力節約

大きな電力を必要とする乾燥プロセスにおいて、大型主力乾燥機用インバーター機を開発導入。月間120,000kwh(4人家族60世帯分の月間消費電力に相当)の省電力を実現しました。

●電力消費も大幅削減



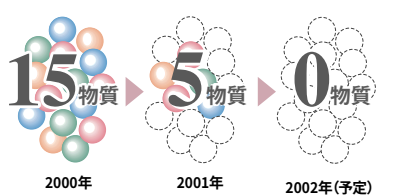
●蒸気消費も大幅削減



PRTR対象物質を排除

2001年度末までに、洗剤などに含まれるPRTR法の対象15物質のうち、10物質を全廃。残る5物質も完全排除をめざして研究を進めています。

●資材中PRTR対象物質



商品再生技術で省資源

繰り返し使ううちに破れ、シミ、変色などを起こしたモップやマットなどは、そのまま廃棄せずに修理・再生。資源をとことん有効に利用するとともに、廃棄物を削減しています。

●2001年度の再生実績(抜粋)



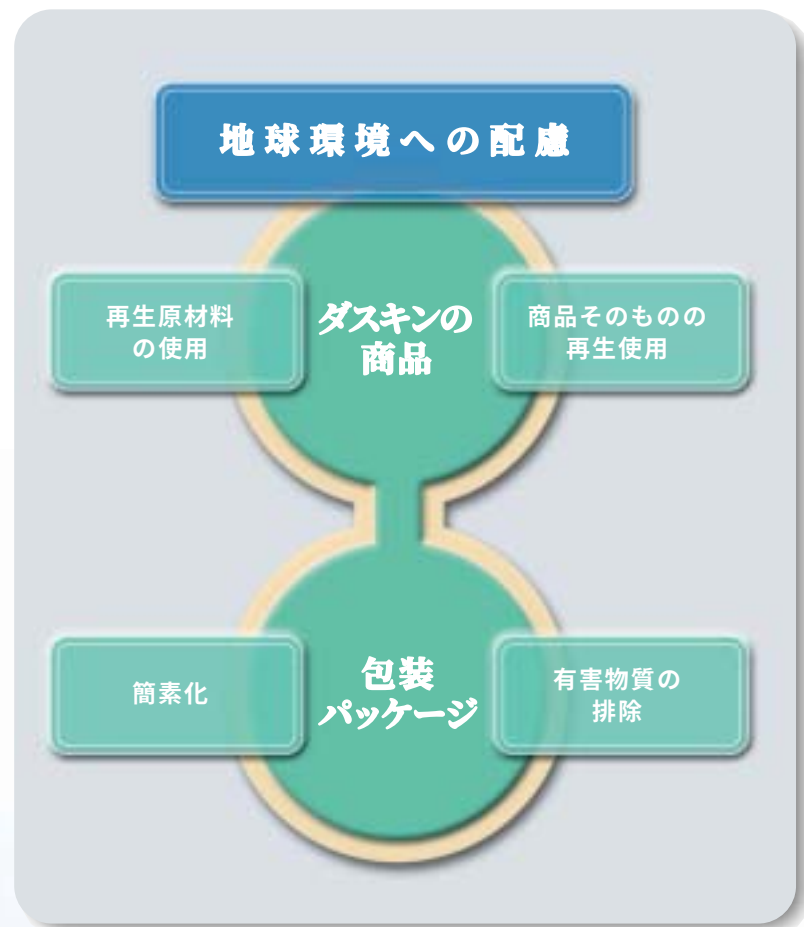
配送車両の排ガス低減

交通渋滞を避けた夜間配送で配送効率を高めて、排ガスの排出量を低減。また2000年度から天然ガス配送トラックを導入し、現在2台の低公害車両が配送に活躍しています。



ゴミを減量する、商品に再生する。
商品開発にもエコロジー発想が
活かされています。

より使いやすく丈夫な商品づくりを進めるとともに、いち早く環境保全に配慮した商品開発を推進。洗剤などについても、環境ホルモンと疑われている物質はもちろん、PRTR法で指定された化学物質を排除した商品に切り替えています。



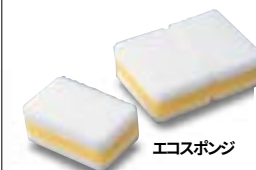
環境にやさしいエコ商品開発

生分解性の高い界面活性剤を原料とした洗剤をはじめ、100%天然素材の商品や再生素材を利用した商品を積極的に開発。洗剤を使わないで汚れを落とすスポンジや生ゴミ処理機など、自然を汚さない工夫を施した商品も追求しています。

台所用洗剤などの家庭用ケミカル商品は、PRTR法で指定された、環境に影響をおよぼすおそれのある化学物質を原料として使用しない様に、他社に先駆けて取り組みをはじめています。



洗剤を使わず、水にぬらして軽くこするだけでガンコな汚れを落とす「エコ・スポンジ」や「フキペット」。家庭用排水が最大の原因と言われる水質汚染の軽減に貢献しています。



原材料は100%天然素材なので、土中に埋めるとすべて分解します。



バイオの力で分解し、処理済みのチップは肥料に利用できます。



パッケージ・容器を簡素化

家庭用の各種洗剤には詰替用を用意し、ゴミの削減に貢献。また浄水器の蛇口用カートリッジなどは箱詰めを廃止し、袋のパッケージのみにするなど、包装を簡素化しています。



詰替用洗剤

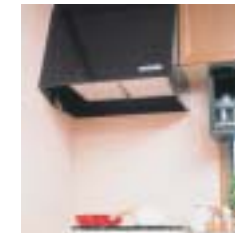
パッケージ素材から有害物質を排除

レンタルモップ商品のパッケージ素材から、焼却時に有害物質を発生する可能性のある塩化ビニルなどの成分を排除しました。



ペットボトルを使った商品を開発

マットやフィルターなどの繊維素材に、回収ペットボトルから生まれた再生ポリエステルを有効活用。例えば「吸塵・吸水マット」には年間約300万本、レンジフードフィルターの不織布には年間7万本の回収ペットボトルを使用しています。



レンジフードフィルター
(不織布タイプ)



廃棄プラスチックを使用した
リサイクル商品。
ダストボックス
フタ付き



吸塵・吸水マット

「タカラ品」をリネンウエスに再生

創業時から愛され続けているロングセラーのダストコントロール商品「ニューホームダスキンは、毎月約6%が廃棄品に。ダスキンはこれを、「眠っているが貴重で価値のあるもの」として『タカラ品』と呼び、産業用リネンウエスに再生しています。このほかマットも、厨房などで使われる「水取りマット」に。再生によって新しい用途に変身しています。



約6%
の廃棄品
ニューホーム
ダスキンは

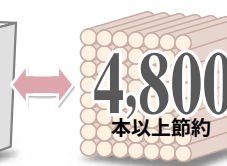


産業用の
リネンウエスに
再生活用

商品に再生紙を利用

化粧室のペーパータオル「エコペーパータオル」「ダスキントイレットペーパー」などに、電話帳やコピー用紙などの再生紙を利用。また本冊子をはじめ、カタログなどの印刷物にも再生紙を使っています。

電話帳やコピー紙などの古紙100%の「エコペーパータオル」は、2001年度に60万パックを販売。立木(直径14cm、高さ8m)4,800本以上節約したことになります。



平均的なパルプ材
(直径14cm、高さ8m)
換算すると

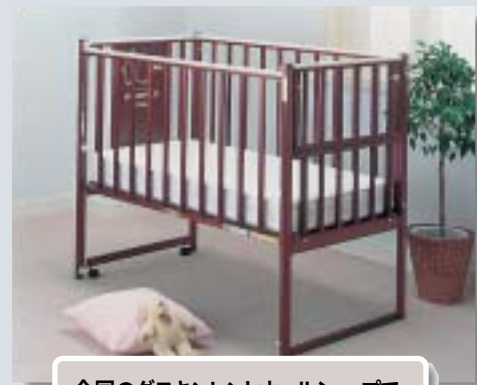
レンタルサービス

無駄を省く、廃棄物を減らす。
あらゆる生活用品を効率よくリユースしています。

必要な時に必要なものを使う「レンタル」は、省資源化につながるたいへん効率的な方法です。ダスキンのレンタルサービスでは、レントオールを中心にさまざまな生活用品のリユースを推進。2001年7月には、ダスキンレントオールフランチャイズ本部と全国の店舗がISO14001の認証を取得。ゴミの削減、汚水処理、省エネ、排ガス低減など、環境を考えた本格的な取り組みが始まっています。

レンタルで廃棄物を削減

例えばベビーベッドなら、全国の「ダスキンレントオール」ショップで年間約1万回のレンタルがあります。もしもこれがレンタルでなく、全て購入されていたとすれば、140tも多くの廃棄品が出ることに。必要な時だけ借りるレンタルは、資源の節約とゴミ削減の大きな力といえます。



全国のダスキンレントオールショップで、
年間約 **1** 万台の
ベビーベッドをレンタル

購入し廃棄すると

200t
の廃棄物

レンタルの場合

60t
の廃棄物

= 140t
の削減

資源節約・廃棄物削減量 ➡ 年間 **140t**

レンタルサービス（レントオール）環境方針

ダスキンレントオールグループは、家庭や事業所への価値ある商品のレンタル及びリサイクルを通じて快適で豊かな社会づくりのため事業を展開してきました。今後さらに21世紀の循環型社会構築のリーダーとして、レンタル及びリサイクル事業の領域を広げるとともに豊かで安全・衛生的な社会の継続的な発展を事業の使命と信じ、かけがえない地球環境の保全を実現できる商品提供を続けてまいります。

- ①商品メンテナンスを行う際は、充分環境に配慮し、それにとまなう汚染の予防に万全を期します。
- ②事業活動に伴う関連の環境法規制及びその他のお約束事項を確実に遵守し、環境保全活動を積極的かつ継続的に推進します。
- ③事業活動においては省エネルギーを推進し、資源の有効活用に努めるとともに商品のメンテナンスには万全を期し、お客様の安全を最優先として取り組みます。
- ④この方針を全員に周知し、継続的に取り組み実践していきます。
- ⑤この環境方針は、社内外に公表をします。

中古品販売で二次使用を促進

「ダスキンレントオール」では、何度もレンタルして一定の基準を超えた生活用品をそのまま廃棄するのではなく、修理やメンテナンスを施した後でユーズド品として販売しています。中古品として店頭販売したり、何店舗か合同でバザーを行うなど、その方法は地域によってさまざま。2001年6月からは、ホームページ上でも中古品オークションとして実施し、格安で提供しています。



子供用品のユーズドショップ展開

「リサイクルマート」は、リサイクル事業の世界No.1企業である米国グロービズ・インターナショナル社と提携。2000年7月に、子供用品専門のリサイクルショップ「ワンス アポナ チャイルド」第1号店を大阪にオープンさせ、現在全国で5店舗を展開しています。「ユーズド（中古）品にも価値がある」をキーワードに、リサイクル市場でも特にニーズの高い子供服や子供用品を提供しています。



携帯や充電器を回収・リサイクル

モバイル機器を販売している「eeステーション」ショップでは、NTT DoCoMoグループ各社と協力し、携帯電話やPHS、充電器、電池パックなどを回収しています。回収後は、自転車のスポークや電池の材料、ステンレス流し台、永久磁石などの材料にリサイクルされています。



ケアサービス

自然を汚さない、意識を高める。
環境保全を考えた独自の
ノウハウを実践しています。

清掃や害虫駆除を行う「ケアサービス」では、環境に配慮した資器材や技術の開発とともに、サービスを行うスタッフの意識向上に力を注いでいます。2001年4月には、全国1,680拠点という大きな組織でISO14001の認証取得。オリジナルの環境カレンダーを全国の拠点に掲示したり、月1回は環境管理推進責任者会議を開催したりと、ISOの精神と活動を全組織員に徹底しています。環境保全のトータル提案にも取り組んでいます。



●ISOカレンダー
一般的な環境関連行事に合わせて設定された、ケアサービスの「月間テーマ」および「月別行動目標」、さらに事業別の「月間活動目標」が記載されたカレンダーです。店舗ごとに決めた活動目標も書き込み自由。店内の目立つところに常に掲示し、環境意識の向上を促しています。

ケアサービス環境方針

ケアサービスは、家庭やオフィス・店舗をはじめ、各事業所施設の快適環境を実現するために、環境に配慮した資器材とサービスおよび高度の専門システムサービスで、お客様により安全で衛生的な生活環境を提供し、豊かな生活とかけがえない地球を守るよう行動します。

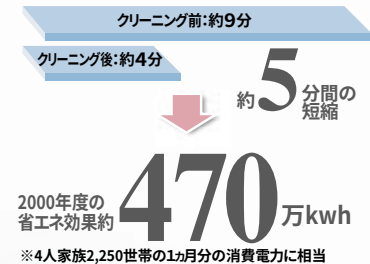
- ① 全国のサービス拠点・チェーン店に環境管理体制を組み入れ、自らの責任において環境負荷低減活動を維持します。
- ② ケアサービス事業活動の環境に与える影響を評価し、目的・目標を定めて、定期的に見直しを図り、汚染の防止と継続的改善を行います。
- ③ 事業活動に伴う関連の環境法規制とその他の要求事項を遵守して環境保全活動を積極的に推進します。
- ④ 事業活動で使用する資器材・薬品はより安全で、環境に配慮するとともに、資源の有効活用と廃棄物削減を目指します。
- ⑤ ケアサービスの全働きさん(従業員)に環境教育を実施して意識向上を図り、環境方針の周知徹底と清掃奉仕活動で地域社会へのお役立ちを行います。

エアコンのクリーニングで省エネに貢献

エアコンに付着したホコリや汚れは、冷暖房の性能を著しく低下させます。これが消費電力の増大につながることはいうまでもありません。プロのお掃除サービスを提供する「サービスマスター」では、徹底したエアコンクリーニングサービスにより清潔・快適な環境をお届けすると同時に、空気の循環をスムーズにして、エアコン本来の性能を回復・改善。熱効率を高め、節電を実現しています。例えば、エアコンを稼働して30℃の吹き出し温度を25℃に下げるとの所要時間は、クリーニング後に約5分間短縮。ご家庭から事業所まで、さまざまな場面で省エネに貢献しています。



●エアコンクリーニングによる省エネ効果
(吹き出し温度が30℃から25℃になるまで)



緑の保全を実施

「ツルグリーン」では、年間を通してお客様の大事な緑を守ります。四季の訪れを感じる緑は人々に豊かな住環境を与えます。また、ツルグリーンサービスによる緑の保護を通して、地球の温暖化防止、空気の環境浄化のお手伝いをしています。生き生きとした瑞々しい健康的な緑を作りだす緑の保全を一步一步着実に広げています。



レスケミカルの害虫駆除

従来の害虫駆除は殺虫剤の散布が主流でしたが、「ターミニックス」では自然にも人にもやさしいレスケミカルシステムへの転換を進めています。例えば、ゴキブリをバキュームで吸い取り、ゴキブリの潜むポイントにベイト剤を設置する〈ベイト法〉、薬を撒かずシロアリを巣ごと根絶する〈セントリコン*・システム〉など。いずれも衛生的な環境をキープする、予防管理に重点を置いたシステムです。

●セントリコン*・システム



建物周辺に少量の薬剤をしみこませたエサをセットし、シロアリの習性を利用して巣を根絶。人体やペット、周辺環境に影響を与えない安全な駆除・予防法です。

※セントリコン*システムは、米国EPA(環境保護庁)の認可(EPA62719-243)を受けています。*ダウ・アグロサイエンス商標

●ベイト法



専用バキュームでゴキブリを吸い取り、さらにベイト剤をポイントだけに設置。駆除の後も定期的に監視するため、薬剤の使用量も最低限に抑えることができます。

※「ターミニックス」のベイト法については、グリーン購入法に基づく特定調達品目として申請中です。

自然の力を利用した庭木管理の推進

「ツルグリーン」では、薬剤を使用せずに雑草を抑える、天然木の廃材チップを敷き詰めて雑草の生長を妨げる〈マルチング〉を推奨しています。チップは下から順に腐食してそのまま肥料になり、土壌がより肥沃になる、環境に順応した自然の循環システムを推奨しています。



環境負荷の少ない洗剤・資器材を使用

「サービスマスター」や「メリーメイド」がお掃除に使用する洗剤はPRTR法に該当する成分排除を積極的に進めています。また洗剤の原液ボトルも、段ボールとラミネートでできたバックインボックスに変更中。廃棄ゴミ削減を図っています。



環境保全への意識を啓蒙

「メリーメイド」では、お掃除後の排水処理を具体的に示したマニュアルや、定期的の実施される家事ゼミナールを通して、環境保全の知識修得に力を注いでいます。また半年に1回発行している情報誌「クオリティタイムス」などを通じて、お客様にも環境意識を啓蒙。草の根の環境保全活動を実施しています。



医療施設や介護施設の廃棄物処理もサポート

医療施設や介護施設において組織運営をバックアップしている「ヘルスケア」では、廃棄物の処理方法についてマネジメントを行っています。

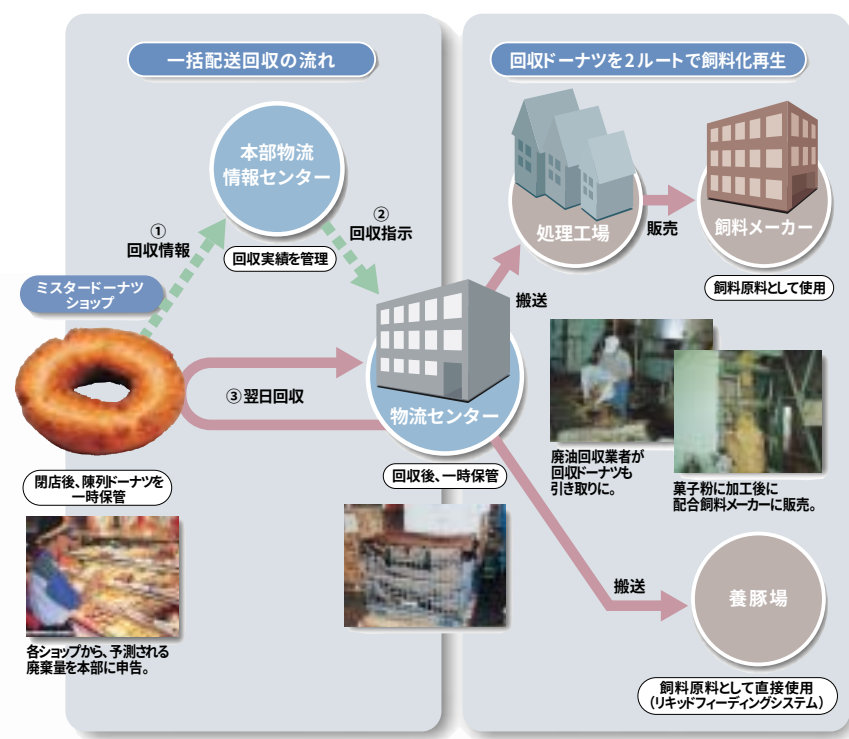


関東で本格始動しています。
食品を再生する、ゴミを削減する。

環境負荷の高い廃棄物をいかに減らすか。「ミスタードーナツ」では、ISO認証取得の取り組みがスタートして以来、環境マネジメントシステムに基づいた行動計画を全国のショップで展開してきました。閉店時の陳列商品を廃棄せずに、食品一括配送回収システムの開発に尽力。関東ではすでに本格稼働しています。

閉店後廃棄するドーナツを回収し資源化

「ミスタードーナツ」では、閉店直前に来られたお客様にも多くの品数からお選びいただけるよう心がけてきました。廃棄されていたドーナツは、1ショップ当たり月間平均約7,500個。環境負荷の高い廃棄食品をリサイクルすることは、「ミスタードーナツ」の大きなテーマとなっていました。そこで開発されたのが、各ショップから廃棄ドーナツを原材料配送車で回収し、これを畜産用飼料として再資源化する「一括配送回収システム」です。2001年には関東エリアでテストを実施。現在では340店で本格始動しています。



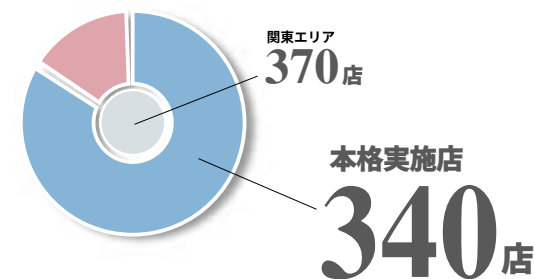
フードサービス（ミスタードーナツ）環境方針

ミスタードーナツは、お客様に健康的で快適な楽しい食文化を創造し、環境に配慮した店舗や事業サービス活動を促進して、環境にゆるされる企業「ミスタードーナツ」を追求し続けます。

- ①ミスタードーナツは、全国チェーン店組織に環境管理体制を組み入れ、地域社会へのお役立ちと地球環境保全活動に取り組みます。
- ②ミスタードーナツ事業活動が環境に与える影響を評価し、環境目的・目標を定め、汚染の予防及び継続的改善を図ります。
- ③ミスタードーナツ事業活動に伴う関連の環境法規制及び同意したその他の要求事項を遵守します。
- ④ミスタードーナツ事業活動の全ての領域で、省資源、省エネルギー、リサイクル、廃棄物処理の削減に取り組みます。
- ⑤この方針を、ミスタードーナツ事業に携わる全働きさん（従業員）に周知徹底して環境意識向上を図ると共に、年1回以上状況を把握して見直しを行います。

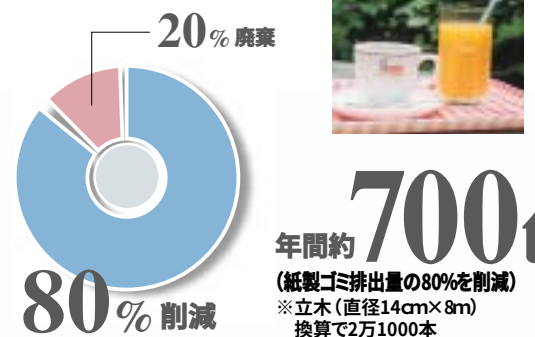
ドーナツ再資源化の取り組み店拡大中。

2001年に関東西部の直営店でテストを開始したドーナツ再資源化の取り組みも、2002年には関東エリア全域に拡大。8月末現在では、340店舗で本格実施しています。今後も地域スーパーバイザーの協力により、取り組み店の拡大をめざしていきます。



店内飲食に陶器やガラス食器を使用

「ミスタードーナツ」では、1974年から店内飲食に陶器製カップやお皿、ガラスコップ、金属製のスプーンを中心に使用。使い捨て文化の象徴といわれる、ファーストフードショップの紙製ゴミを極力抑えています。



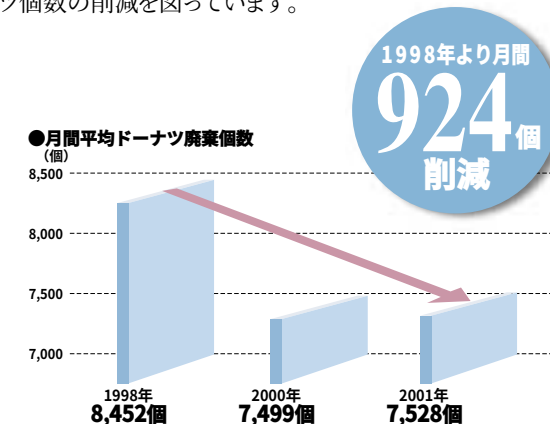
廃油を石けんにリサイクル

全国の「ミスタードーナツ」ショップから、年間1,100tの廃油を回収。一部を液体石けん「純石鹸クリーンアップ」に再生し、ショップでの食器の洗浄に使用しています。



ドーナツなどの廃棄ゴミ削減

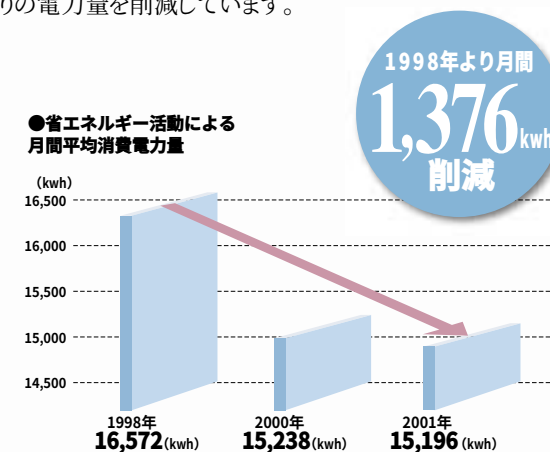
ドーナツの製造スケジュールの見直しを行うほか、「廃棄チェックリスト」による徹底管理を実施。閉店時の廃棄ドーナツ個数の削減を図っています。



※関東エリアの飼料化を含まない数値です。

ショップの消費電力を削減

水道光熱メーターチェックの管理及び、こまめな消灯を推進。地道な省エネ活動により、「ミスタードーナツ」1ショップ当たりの電力量を削減しています。





社会の中で、企業集団内です。
あらゆる面で、環境保全の
役割を担っています。

〈社会奉仕活動〉

国際的な環境美化活動「クリーンアップ ザ ワールド」を実施

「クリーンアップ ザ ワールド」は、世界140カ国以上が参加する国際的な環境美化活動。創業以来「世の中を美しく」との願いのもと、お掃除奉仕活動として托鉢（無償の奉仕）に取り組んできたダスキンも、この地球規模の環境保全活動に協賛。1998年の創業35周年を機に、「クリーンアップ ザ ワールド」活動をスタートさせました。第1回目には、創始者イアン・キアナン夫妻にもご参加いただき、地域の清掃活動を実施。その後は回を追うごとに、加盟店オーナー、組織員、その家族、地域の方々、お取引先様と、参加者も確実に増え、活動の輪が大きく広がっています。

「クリーンアップ ザ ワールド」活動は、企業・団体・個人のみならずのご参加をお待ちしています。詳しくは、事務局 06-6821-5076 まで



「クリーンアップ ザ ワールド」とは？
環境問題に取り組む国際的なボランティア団体で、1992年、国際環境プログラム（UNEP）の支援を受けて設立されました。創始者はオーストラリア人のヨットレーサー、イアン・キアナン氏。大西洋に浮かぶゴミを見て「自分でできることから」と、シドニー湾のゴミを拾い集めたのが活動のきっかけとなりました。



2002年10月26日の統一活動日には、全国で3万人を超える人々が活動に参加しました。



事業所周辺をお掃除する社会奉仕活動

ダスキンでは、創業時から各事業所で月々の活動日を決め、お掃除奉仕活動として事業所周辺をキレイにする托鉢（無償の奉仕）活動を行ってきました。今では、ダスキンの企業活動の一環として定着しています。

〈環境教育・啓発〉

環境関連法令への対応

容器包装の軽量化と個別梱包の廃止などを推進した結果、大幅な廃棄物削減と資源節約を実現。財団法人容器包装リサイクル協会と契約したリサイクル化の義務量をクリアして、「容器リサイクル法」を遵守しています。また2001年5月より施行された「食品循環資源の再生利用等の促進に関する法律」を遵守するため、ミスタードーナツショップでは終業後に残ったドーナツの飼料化を実施するなど、生ゴミの再資源化を推進。生ゴミ粉碎機の導入も、積極的に進めています。清掃に使用する洗剤などについても、2001年4月より施行された「PRTR法」の対象となる化学物質の管理を強化。使用中止や削減に力を注ぎ、着実に成果を上げています。

本部・事業ごとに定期的に情報発信

広報本部から月1回発行される「風 DUSKIN」をはじめ、各事業の情報誌で、環境に関わる情報を発信。正しい知識と最新の動きをダスキン企業集団内で共有しています。



内部監査員養成セミナーを開催

環境マネジメントシステムを全社導入するに当たり、2000年度より外部研修機関による内部環境監査員の養成セミナーを実施。2002年3月末現在で、内部環境監査員社内登録は186名となりました。またISO14001審査員資格は1名、審査員補登録資格は2名が取得しています。



〈情報の公開〉

ATCグリーンエコプラザに常設展示

大阪市のアジア太平洋トレードセンター（ATC）の大阪環境産業振興センター「ATC グリーンエコプラザ」において、2000年6月よりダスキンプースを常設。循環型ビジネスを展開するダスキンの環境保全の考え方と取り組みを、パネルや商品展示、ビデオの放映などで紹介しています。



ホームページで環境保全の取り組みを紹介

環境保全に対する理念、方針をはじめ、事業グループごとの活動、商品開発の方向性などをネット上で公開しています。



WWW.DUSKIN.CO.JP

環境関連のイベントに参加

全国で開催されるさまざまな環境イベントに協賛・参加しています。2001年2月にはATCグリーンエコプラザ「環境ビジネスフォーラム・大阪2001」、2001年11月には滋賀県長浜市の「びわ湖国際環境ビジネスメッセ2001」に参加しました。

